

マイ・タイムライン

災害時のあなたの行動を書きましょう。
家族で決めた避難先・集合場所、連絡方法は表紙のメモに書き込みましょう。

災害発生
までの
時間

5
日前

気象情報 避難指示等

台風に関する気象情報

台風が発生



台風が近づいて、雨や
風がだんだん強くなる

〈例〉主な備えと行動

- ・台風の今後を調べ始める
- ・本紙等を見て避難場所、避難手段を確認
- ・家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認
- ・テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意
- ・避難するときに持っていくものを準備する
- ・家族と連絡を取りあう

わが家の行動計画

(左の例を参考に書いてみましょう)

半
日前

大雨注意報・洪水注意報
氾濫注意水位到達

雨が集まって、川の水が
だんだん増える



- ・住んでいるところと上流の雨の量を調べ始める
- ・本紙等で避難場所、避難手段を再確認
- ・川の水位を調べ始める
- ・避難所が開設しているか、インターネットで確認
- ・避難しやすい服装に着替える
- ・携帯電話、スマートフォンを充電する

5
時間前

避難判断水位到達
高齢者等避難

激しい雨で、川の水が
どんどん増えて、河川敷
にも水が流れる



- ・携帯メール等で高齢者等避難を受信
- ◎高齢者等は避難開始

3
時間前

氾濫危険水位到達
避難指示

川の水があふれそうに
なり、いつ氾濫しても
おかしくない状態



- ・携帯メール等で避難指示を受信
- ◎安全なところへ移動を始める

0
時間

氾濫が発生
緊急安全確保
川の水が氾濫



- ・命の危険 直ちに安全確保

全員避難完了!!

※ 気象庁が発表する大雨注意報等の発表時間は、イメージで記載しています。
避難指示等のタイミングは状況によって異なります。益子町からの発信情報に注意してください。

土砂災害対策

土砂災害とは？

土砂災害は、台風、大雨、地震などにより発生しやすくなります。斜面の地表に近い部分が雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる「崖崩れ」、山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨等によって一気に下流へと押し流される「土石流」、斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する「地滑り」があります。また、土砂災害が発生する前には、さまざまな前兆現象が起こることがあります。

土砂災害の前兆・種類

下記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起こるというものではありません。普段と違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

崖崩れ

地中に浸みこんだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。崖崩れは突然起こるため、人家の近くで起こると逃げ遅れる人も多く、被害が発生する割合も高くなっています。



土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



地滑り

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害をおよぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。

